

「1 次試験が思わしくなかった方へ 今後の対策と指針」

(1) ガイダンスの主旨

タイトルの通り、主に 1 次試験の結果が思わしくなかった方を対象に、「診断士試験合格に向けて今どうすればいいのか」「今後何をすべきなのか」などの指針を検討し、行動に移すことを主旨としています。

- 1 次試験合格見込みの方は、このガイダンスは視聴せず、直ちに 2 次対策に取り組んでください！
TAC 動画チャンネルにて「2 次直前対策」に関するガイダンスを配信しています。

(2) 属性別の具体的な指針と対策

	結果が微妙な方 (不安一杯な方)	科目合格になりそうな方 (科目合格を狙った方含む) 1 次不合格の可能性が高い方
1 次試験終了直後	①TAC データリサーチを活用して採点し、結果を明らかにした上で次のステップに進む。 ②結果を見ずに次のステップに進む。 ※次のステップ＝2 次対策です。 ※もちろん少しリフレッシュしても OK	※同左 ④ どちらにしても次の ステップに進むべき！
9 月 6 日の 合格発表までの間	①採点して思わしくない結果の場合であっても、わずかな可能性を信じ、強い精神力で 2 次対策に集中する。 ②結果がどうであろうとも、 今やるべき 2 次対策に集中する。	2012 年に 1・2 次合格をするために、 今は 2 次対策に集中する。 ※気分的には乗らないと思うが 2 次対策のカリキュラムをこなしてほしい
9 月 6 日の 合格発表直後	合格した方は、気合いを入れ直して全力で 2 次対策に取り組む！ 残念ながら不合格となった方は、 根性でそのまま 2 次対策を続ける か、リフレッシュして気持ちを切り替える。 辛かったら TAC の ガイダンス や メール などで講師に相談してほしい	引き続き 2 次対策を継続する。そして科目の可否を基に、2012 年合格に向けた対策を考える。 辛かったら TAC の ガイダンス や メール などで講師に相談してほしい
2012 年合格に向けた指針	科目合格をした方は、 1・2 次上級本科生 を基本に検討する (TAC 中小企業診断士講座 受験経験者パンフレットを入手)。1 次の再受験科目と 2 次の適切な対策を同時に行い、2012 年の完全合格を目指す！ ★再挑戦できるという環境があることは、とても幸せなこと！ ★人生一度きり！やらなかった後悔は避けたい！	
2012 年合格に向けた対策	① 1 次対策 ◆不合格科目の克服を早めに実施する。本年度 1 次試験の結果を分析する。 ・正答すべき問題で落としていないか ・知識不足な点はなかったか ・その他弱点はないか 等 ◆解き直した上で、来期に向けた弱点を分析する。 ◆当面は TAC 模範解答集 を参考にしながら、さらに 5 年分の過去問や 2011 年の各答練、模試などの各問題に再度取り組む。基礎的な理解不足の場合は基本からやり直す。 ◆ 1・2 次上級本科生 に申込み、10 月から来期に向けた学習を開始する。	

	② 2次対策 ◆過去問 5 年分 20 事例すべてに取り組む。1 事例 5 時間かけたとしても 20 事例で 100 時間かかる！過去問に初めて取り組む方は、次の手順で行う。 1) まず、80 分で自分の力で解答を作成する。80 分という時間感覚を最初からつかむことが重要。また解答は書いたつもりではダメ。しっかり書くことが大切。また解答は保存する。 2) 次に、解答例を見る前に、自分の全力解答を作成する。何時間かけても良い。徹底的に頭を使い取り組むことに意義がある。 3) 解答例および解説を確認し、自分の解答とのギャップを分析する。 4) 教訓リスト、弱点（失敗）リストに記録する。 5) 時間をおいて、再び取り組む。その際には、すでに頭に残っているため、60 分で制限字数の 7 割で書くなど自分で別の条件を設定して取り組む。 6) 初回の解答と比べて分析する。また、教訓リストと弱点リストにも記録し、初回との違いや成長ぶりをチェックする。 ◆同様に、2011 年度第 2 次試験を受験したつもりで取り組む。本試験問題は、TAC のホームページでもアップするし、11 月末頃には「TAC2 次試験模範解答集」を発行するので入手する。 実際に受験した人と、受験しない人との差は大きい。それを埋めるために、受験者と同じ環境で解き、同じように自分の答案を分析することが重要。
--	--

モチベーションの持続法

- ・現状の不満と将来の不安を再認識する
- ・成功している人の姿を直視する
- ・合格後の自分の姿をイメージする

（３）TAC からのお知らせ

① ガイダンスおよび個別相談のご案内

TAC では 1 次試験直後、合格発表後のタイミングで、各校において**ガイダンス**を実施しています。1 人で悩まないで、是非とも相談にきてください。必ず皆さんを良い方向に持って行けると確信しています。**定期的にホームページをチェック**してください。

TAC ホームページ ⇒ <http://www.tac-school.co.jp/>

② 電子メールでの個別相談のご案内

我々講師が電子メールで皆さんのご相談に応じますので、遠慮なくご相談ください。また、各校舎においても講師がおりましたら直接ご相談ください。

ご相談はこちらへ ⇒ sindansil@tac-school.co.jp

- ご相談に来られる前に、1 次試験の結果と、なぜそのような結果になったのかなどを整理され、分析されることをオススメします。来年の合格を確実にするために！

TAC 中小企業診断士講座 専任講師 高久 広